

施設（園）の概要

本調査票の記入日： 令和 2 年 10 月 27 日

設置・運営主体	社会福祉法人かなさ福祉会		
設置主体			
経営主体	公私連携幼保連携型認定こども園		
施設（園）名	へしきや・かなさこども園	種別	認定こども園
所在地	〒 904-2314 沖縄県うるま市勝連平敷屋3850番地		
電話	098-987-8266	F A X	098-987-8267
Email	kodomoen@kanasa-hoikuen.com	U R L	https://heshikiyakanasa-kodomoen.com
施設長氏名	外間ケイ子		
調査対応担当者	・中曽根敦美 ・須賀祥乃 （所属、職名：主幹保育教諭） ・山城智香		
利用定員	60 名	開設年	平成 31 年 4 月 1 日
開園時間	午前7時30分～午後7時		

【職員の状況に関する事項】

① 職員体制（専門職については、追加・修正して入力して下さい）

	園長	教頭・ 副園長	主幹 保育教諭	保育教諭	保育士	調理員
常勤	1 名	名	2 名	11 名	名	2 名
非常勤	名	名	名	0 名	名	名
	栄養士	看護師、保健師	嘱託医	用務員	事務員	
常勤	名	名	名	名	1 名	
非常勤	名	名	名	1 名	名	

常勤職員数 17 名非常勤職員数 1 名（常勤換算 0.7 名）

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

非常勤職員数	1 人	（常勤換算	0.7	人）		
うち	保育教諭・保育士	（		）人（常勤換算		人）
	保健師・看護師	（		）人（常勤換算		人）
	栄養士・調理員	（		）人（常勤換算		人）
	その他（	1）		）人（常勤換算		0.7 人）

前年度採用・ 退職の状況	採用	常勤：	5 名	非常勤：	名
	退職	常勤：	名	非常勤：	名
常勤職員（うち保育教諭・保育士・保健師・看護師）の平均年齢		39 歳（ 35 歳）			

② 前年度職員の研修実施・派遣状況 参加人数：延べ 名

研修名称・主催者等：
別紙添付

③ 期待する職員像（職員に求めている人材像や役割）

子どもの気持ちや要求などを受け止め、社会性や協調性を身に付けるために、ルールや決まり事に則して、良いこと・悪いことの指導をしっかりとっていく姿勢や何に対しても一生懸命前向きに取り組み保護者から子供を安心して預けられる保育士。

【教育・保育の内容に関する事項】

① 理念・基本方針

理 念： 「生きる力・強い心を持つ子供を地域と共に育てる」

教育・保育目標：「じょうぶな子ども・明るいこども・元気な子ども・考える子ども」

基本方針：「子どもには家庭的な雰囲気の中で、生活や遊びを育み集団の中の個を大切にする。」
「保護者には子どもを通して、家庭とこども園が連携を密にし、共に育て合い、育ち合う中で信頼関係がしっかりと構築され子育ての喜びを共に味わう。」
「地域には地域の人的・物的資源を有効利用し、外部の方々に支えられ刺激を受けながら、地域への働きかけなどを積極的に行い地域を愛し、愛され、地域に根差したこども園を目指す。」
「職員には園のかかげる教育保育方針・目標を職員全員が共通理解し、質の高い教育・保育を目指し切磋琢磨しながら意欲的に取り組む」。

② 実施している事業

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育（ヶ月から）	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	円／
延長保育	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	300 円／ 60分
休日保育	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	円／
障害児保育	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	円／
一時保育	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	円／
放課後児童健全育成事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	円／
地域子育て支援センター	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	円／
アレルギー等対応給食	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	円／
その他（事業名： 預り保育）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	300 円／ 60分

（注）実施の有無についてチェックマークを付し、月額保育料以外に利用料が必要な場合は利用料を記載する。
自主事業も含む。

【定員及び現在の利用者の状況】

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり平均 保育教諭・保育士数
0歳児					
1歳児					
2歳児					
3歳児	20名	14	1	14	2
4歳児	20名	25	1	25	2
5歳児	20名	28	1	28	2
計	60名	67	3	—	—

【施設の状況】

(1) 建物面積 (認定こども園分)	730.52 m ²
	児童1人あたり 12.18 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	829.37 m ²
	児童1人あたり 13.82 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1 はい <input type="checkbox"/> 2 いいえ
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1 はい <input type="checkbox"/> 2 いいえ
(4) 建築(含大改築)年	4年

教育・保育スペースの状況（保育室以外の教育・保育ができるスペース）

遊戯室

【苦情対応】

窓口設置 あり なし
 第三者委員の設置 あり なし

【サービスの提供内容に関する特色】

① 健康管理

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に「健康な心を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う」を基に沿って、登園の教育・保育目標の狙い、内容を指導計画に反映し、健康な心と体を育成するための温かい触れ合いや体を動かす機会を確保し、また、食習慣の管理、特にアレルギー児の対応は医師の指示の下保護者への安心感と園児の安全を確立する。感染症に関しては職員の衛生意識の向上、また、災害に備えマニュアルを遵守しながら子ども達の健康管理を努めている。

② 食事

こども園における食事の提供は、児童福祉施設最低基準の第11条により、食事を提供するときは沖縄行事食や献立は変化に富み楽しく食事を味わえる環境作りを行う。子ども達が身体的状況や嗜好を考慮し、年一回の栄養評価による、食事の評価、改善が実施されている。食事計画は食を通じた豊かな人間性の育成の観点から、食育活動の一環として、旬の野菜の栽培や収穫、調理までの体験により、より一層の食事に興味や関心を培う。

③ 地域との交流

様々な地域交流活動により、自治会主催のミニデーや敬老会、異年齢間の交流、就業体験、グッジョブ体験交流会等また、園主催の行事（夕涼み会、十五夜祝い、ムーチー作り、ハロウィンパーティ等）により、他者への信頼感が育ち、自己肯定感が持つようになり、自然体験や原体体験ができることに繋がることを目的としています。

④ 施設の公開・見学

園への興味・関心をもって電話等をいただいた場合は、見学を進めお子さんと一緒に見学や体験入園や体験給食を進めています

⑤ ボランティアの受入

・前年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）（ 5 ）名

社会活動の一環として、ボランティア受け入れを行っています。自ら保育園を選ぶことで、将来保育士願望の保育学生や主婦等勉強をしたことを活かす、復習するするなど経験の場として受け入れをしています。ボランティアをすることにより、「キャリア形成になり、就職の際のアピールにもつながるメリットになります。人材不足の昨今、ボランティアの受け入れは将来採用をする狙いもあります。

⑥ 実習生の受け入れ

・前年度における実習生の受け入れ数（実数）（ 0 ）名

保育士資格を取得する上で履修するもので、実習生の将来に希望を与え、失敗しても落ち込まないようなフォローや雰囲気を作り、認め、評価することを心がけています。気持ちよく終わることで自信に繋がり、保育士の道を選び将来の設計ができると思う。また、この園で働きたいという要望になればと思います。園側として、普段の業務に加え、実習生の対応も行うことで保育教諭に負担が生じます。しかし、自分たちも経験したことで、実習生の受け入れは未来の自分たちの仲間を育てることや原点を見つける良い機会にもなります。

【料金】（月額保育料及び併設事業以外の保護者負担額）

内容	保護者会費	(無	円/月・回)
内容	教材費（個人用）	(無	円/月・回)
内容	主食費（3歳児クラス以上）	(500	円(月)・回)1号認定児は無料

【施設からのコメント】（受審にあたって、事前に評価機関・調査者に理解して欲しいこと等）

今回の福祉サービス向上の一つのツールとして、第三者評価の受審に当たり、職員の資質向上における手段として前向きに取り組みました。しかし、管理者調査票や基本調査票、提出書類等の期限が少々短かったので、大変な作業となりました。今回新型コロナウイルス感染症のため、様々な影響が出ることは止む得ないことですが、職員は実践している教育・保育を文章に起こし、マニュアルにする作業や保育をしながらの業務に加え、自己評価票の書き込みなど大変な作業だったようです。常勤、非常勤職種人関係なく全職員が共通意識をもって臨むことが出来ました。保護者に信頼される園、地域に愛される子育ての中核となる園、職員が働きやすい環境と働きがいのある園を目指しています。